



D. K. Lee

李東建  
2008-09年度国際ロータリー会長



No. 46

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

- ①ロータリーを楽しもう
- ②子どもたちが幸せになるために
- ③友愛奉仕活動を実践しよう
- ④ロータリーの綱領を実践する

例会記録 (2009. 6. 26 (金)) 通算2,761回

#### ◆開会

#### ◆唱歌

ロータリーソング (我等の生業)

#### ◆プログラム予定

7月3日 (金)	7月10日 (金)	7月17日 (金)	7月24日 (金)
クラブフォーラム 「年間方針発表」 会長・幹事	臨時総会 定款細則・決算・ 予算承認	2009～2010 事業計画	2009～2010 事業計画

## ◆7月に転勤異動により退会される埋田会員挨拶



転勤に伴い退会される埋田会員



記念品を受け取る埋田会員

## ◆出席報告

本日	6月26日	会員数49名	欠席者6名	出席率88.88%
前々回	6月12日	会員数49名	欠席者0名	出席率100%

## ◆MAKE-UP

伊藤長次郎会員	神戸東R.C	6月16日
新井 哲三会員	高砂青松R.C	6月17日
狩野 雄作会員	高砂青松R.C	6月17日
後藤 純次会員	高砂青松R.C	6月17日
脇谷 政孝会員	高砂青松R.C	6月17日
埋田 悦造会員	高砂青松R.C	6月17日
新井 哲三会員	e-CLUB	6月14日
荒川 俊雄会員	e-CLUB	6月14日
三宅 俊宏会員	e-CLUB	6月16日
覚野 成広会員	e-CLUB	6月16日
伊地知正治会員	e-CLUB	6月18日

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

片嶋 純雄会員……6/20家族例会には多数のご参加をいただき有難うございます。  
信原会員にはご無理を申しました。

坂牛 八州会長 守光 隆幹事……1年間お支えいただきまして全会員様に心から感謝申し上げます。

中尾 康三会員……坂牛会長、守光幹事1年間ご苦勞様でした。またSAAを支えていただきました名嶋、井上両会員、会場設営を手伝って頂いた会員、そしてニコニコ箱にご協力頂いた全ての皆様に心より感謝とお礼申し上げます。

埋田 悦造会員……7月転勤で九州の方へ異動となりました。高砂R.Cの皆様には大変お世話になりありがとうございました。

早退 1名

## ◆幹事報告（2,761回）

- ◎ガバナー事務所、東播磨地区薬物乱用防止指導員協議会より、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動パンフレットが届いています。
- ◎財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団より報告書が届いています。
- ◎関西電力より「わっと」（夏号）が届いています。



次期会長 大村会員



宮本ガバナーから頂いた会員出席100%  
記念品を紹介する坂牛会長

## ◆会長の時間

今日は会長として最後の例会となりました。昨日NHKテレビの午後6時のニュースを見ておりましたら、高砂のマスコットの「ぼっくりん」が出演していて驚きました。何でも夏の盆踊り向けに「ぼっくりん音頭」の練習風景でした。なんとその風景の中に職員が3人も映っているではありませんか。職員から聞いてなかったので2度びっくりした次第です。

続いて、ニュースを見ていましたら、他局でしたが衆議院選挙に目下、人気絶頂の宮崎県東国原知事への出馬要請の話が大きく取り上げられておりました。

大阪府の橋下知事、横浜市の中田市長などの地方分権のマニフェスト論でかまびすしい状況であります。

私は国民をしあわせにするということを考えてくれる政治が望ましいと思っています。日本のためになる政治家を応援したいと思っています。

## ◆本日のプログラム

会長・幹事挨拶 年度末報告他

会長退任の挨拶 坂牛八州会長

これで最後のご挨拶になります。

去年の7月から何と無遅刻無欠席という快挙を成し遂げました。私の今までの人生から考えますと、信じられないことです。これはひとえに就任時に女房の高校の先輩で籠谷前会長からの「遅れんように奥さんからも、よういうと



いて下さい」「お願いしますよ」の言明にあったと感謝しております。といいますのは例会のある日は、朝からやいのやいの出発するまで、せつつかれての1年。妻の力は偉大であると痛感した1年でもありました。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず、淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例なし」

これは鴨長明が記するところの「方丈記」の冒頭であります。学生時代に、これは世の無常を謡っているのだ、という解釈を先生から習ったのを思い出します。無常感ではありませんが、日本で99番目にエントリーした由緒深い高砂クラブの存在の意義・歴史を考える時、この謡が頭に浮かんできました。

実際は正直、毎週を迎えることの意味を考える方に力点があり、その毎週の積み重ねが1年となることを今頃になって悟ったようなことで、毎週、新鮮な感覚で体験させていただきました。この日常性を体感しながら今日までやってきました。この高砂ロータリークラブの伝統、そして今ある姿のレベル、このレベルの保持の大切さを痛感しました。

気楽な、気が置けない仲間かつ堂々としたクラブメンバー、私は昭和58年5月に入会させていただいて、いい加減なクラブ活動をさせていただいてるにも拘わらず、本当にメンバーの皆様の温かい思いやりで何とか今日まで過ごさせていただき心から感謝しております。

私も65歳になってみて、自分も随分個性の強い、いやみな奴、ちょっと変人なのかなーと自己分析して自嘲してみたりもする今日この頃ですが……。

さて、ロータリークラブの存在の意味についてもこの1年考えさせられました。これは今年度の宮本一ガバナーの研修好きのおかげだと感謝しております。

よく勉強させていただきました。その勉強の成果と言いますか、私なりの解釈をお話したいと思います。

今、新自由主義 (Neoliberalism) オンパレードの時代。小泉純一郎、竹中平蔵提唱の新保守主義ともいわれています。官のもので民ができるものは民で、官で規制しているものも規制を緩和したり、はずしたりすることで、経済の自由化、自由競争を推し進め、勝ち組、負け組などの流行語を生み出しました。

さて、人間のしあわせ、生き方について考えてみました。非常に素朴な発想ですが、マルクスは「資本・富」の悪魔性を説き、搾取によって獲得して、増大して行く「資本・富」こそ資本主義の根本矛盾である。とっています。

儲けた「資本・富」を平等に分配しようというのが共産主義だと位置づけると、「福祉」の考え方は非常に共産主義的なわけです。

資本主義の「資本・富」の悪魔性のほんのわずかでも、取り除くのが現在あるロータリークラブの活動ではないのか、と考えるわけです。

ここに、ドイツの社会学者マックス・ウェーバーの著書「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」の本の中で素朴な経済倫理を説き、「儲け」は儲けさせていただいた神

の所有である。だから、神が神のために使わなくてはならない。それが今で言う Well Fare (よい公平) = Welfare (福祉) ということで、税の精神もそこを根拠としているのです。プロテスタントの経済倫理であったため、聖書に裏付けられた経済倫理であったので、堂々と資本主義活動にいそしみ、ドイツ・イギリスは資本主義が飛躍的に発展し、やがてアメリカへと伸びていきました。一方カトリックの経済倫理は資本主義の「資本・富」については不浄な、不義な精神として忌み嫌ったので、資本主義の発達に阻害された。カトリックの強かったイタリア、フランス、スペインは資本主義の営みが遅れた。旧東ローマ帝国・ビザンチン帝国だった国々は更に資本主義の発達が遅れ、民衆は帝国・教会の農奴に成り下がり、ついに革命を迎えることになってしまった。

日本に資本主義が入ってきたのは、明治時代であった。

日本的には「お客様は神様である」=「購買者、消費者、ユーザー、顧客」のおかげによって企業は成り立つわけですから、儲けの所有者はお客様なのだから、お客さんに還元する。もちろん、株主の配当があつての還元でなければならないでしょう。そういう意味では非常に情緒的で、後に財閥を生む事になって行きました。

「持てる者が持てない者へ」の場合にこそ、持てるものの「精神・心・倫理」が問われるわけです。ビル・ゲイツの父母のビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団のポリオ撲滅活動のために2008年、1億ドルの寄付、更に、2009年に1億ドルの寄付をされています。この精神がプロテスタントの経済倫理に基づいている寄付かどうか、調べるすべもありませんが、ロータリーの精神であることだけは確かです。

奉仕の理想を追い求めるロータリークラブです。

奉仕の形態として

- ①お金を寄付する。
- ②体を動かして奉仕する勤労奉仕。
- ③知恵と時間を出す。

という3通りがあるといわれております。そこに奉仕の質を問うのが、「理想」の意味ではないかというところまで学習させていただきました。

ロータリーについてこんなに考えたのは、初めてです。どうか賢明なメンバーの皆様のご教示願えれば幸甚です。

最後になりましたが、この1年守光幹事さんはじめ、喜始副幹事さん他お名前を挙げれば枚挙にいとまがなく、全メンバーの皆様に助けられ、本当に充実した1年にしていただきました。本当にありがとうございました。

これからもふつつかなメンバーでございしますが、お付き合いのほどよろしく願い申しあげまして、退任の挨拶とさせていただきます。

## 幹事退任の挨拶

守光 隆幹事



1年間、名門の高砂クラブの幹事を務めさせていただきました。ロータリーのことをよく知らないまま幹事をさせていただきました、役をこなしているうちに詳しく理解して卒業を迎えるというシナリオを考えていましたが、日常の処理に追われて、やはりよくわからないまま、退任の日を迎えてしまいました。ただ、各委員会の委員長をはじめ各委員様のお陰で、高砂クラブが空中分解することなく、先輩方から受け継いだ形態を保ったまま、次の代にバトンタッチできることに大変

ホッとしています。会員の皆様の多大なるご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

今年度に行われた各種の事業については、各委員長様からの報告がありましたので、ここでは、割愛させていただきます。幹事として気づいたことなどを報告させていただきます。

まず、会員の異動については、本日埋田会員が退会されることにより、2名減少という結果になりました。退会者は、守田晃（もりたあきら）さん、佐藤純三さん、後藤昭さん、作田慎治さん、埋田悦造さんの5人でした。特に、後藤昭先生については、死亡退会ということで、びっくりすると同時に非常に残念でした。一方で、新しく入会されたのは、安藤公夫会員、伊藤輝彦会員、狩野雄作会員の3人です。フレッシュな会員をお迎えすることで、高砂クラブに新しい息吹を吹き込んでいただけるものと期待しております。

また、嬉しかったこととして、地区大会において、植杉会員が連続出席55年の表彰を受けられたことです。会場で、発表されると「おーっ」という地鳴りのような声が上がったことに非常に感動を覚えました。しかも、植杉会員自ら歩いて壇上で表彰を受けられ、大きな拍手が沸き起こりました。植杉会員にはこれからもお元気で例会場においてお会いできることを楽しみにしています。

また、任期の終わり近くになって、新型インフルエンザが高砂を直撃し、それによりほとんどの行事が中止、もしくは延期になり、財団の補助金を得て、当クラブ主催の映画会が延期になったことは残念な出来事でした。先日、地区役員の方と会談し、8月9日に延期することで、了承を得たようです。

以上のような報告をもちまして、次期、喜始会員に幹事の引き継ぎができそうです。皆様、1年間ご協力いただきありがとうございました。

で、終わり、といたいところですが、私には、次の大役が決まっています。それは、IMの幹事になる、ということです。日にちは、来年2月6日土曜日と決まっていますので、それに向けて、また、前に出てきて皆様をお願いを申しあげることがあるかと思いますが、その時は、是非ご協力をよろしくお願い申しあげまして、幹事退任の挨拶いたします。皆様、本当にありがとうございました。

会長 坂牛 八州                      幹事 守光 隆  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 田中 泰生  
例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)